

大野小地域ぐるみで見守る会

大野小学校学区で町内初めてとなる、地域の住民や保護者による見守る会が発足しました。会員は現在235名で16の通学路のパトロールや声掛けを行い、毎週火曜は1・2年生と一緒に下校します。

発足式には、全校児童138名と見守る会の会員や来賓ら約300人が出席。寺岡会長が「子どもの心豊かですこやかな成長を願い、安全確保のため地域ぐるみで見守る環境づくりを」とあいさつ。赤松校長は「地域の方への感謝を忘れず、明るいあいさつ、笑顔を心がけましょう。」と呼び掛けました。

式のあと、児童と会員は地域ごとに別れて自己紹介を行い、下校しました。



スイスの小学校教諭トーマス・ラーセンさん来町

スイス・バーゼル市エシュ国立小学校の教諭トーマス・ラーセンさんが5月26日から31日まで町内にホームステイしました。滞在中は町内8小学校を訪れ、授業に参加したり、給食と一緒に食べたりと意欲的に活動されました。大野小では田植えを体験し、児童との交流を深めていました。

ラーセンさんは、教育専門学校で教師の指導、教育発展に関する企画に積極的に参加。今回はロシア、中国の小学校の視察を経て初来日しました。



鏡野いきいき生活体験宿

6月10日(火)～14日(土)、奥津ファームビレッジ耕心村で「鏡野いきいき生活体験宿」が開催されました。この事業では、子ども達が宿泊を伴う集団生活を通して、基本的な家事労働を体験するとともに、自立心や協調性を育むことが目的とされています。今回は、奥津・上齋原・富小学校から21名が参加し、学校へ通学しながら4泊5日の共同生活を体験しました。食事作りや洗濯、掃除に悪戦苦闘しながらも、将棋や囲碁をしたり、おしゃべりをしたりして交流を深めました。長藤の水田さんからにぎり寿司や手打ちうどんの作り方を教えていただいたり、子ども達は楽しそうに活動していました。

